



# 普通作 次年度に向けたイネ紋枯病の耕種的防除対策について



農産課 酒井

ここ数年、管内において紋枯病の発生が多い傾向にあります。紋枯病は、夏から秋にかけて病斑に菌核ができ、地中で越冬します。翌年の代かきで水面に浮かび上がり、稲の株元に付着し、発芽して侵入するため、代かき後に**水面に浮かんだゴミを除去**することで防除が期待できます。



# 園芸 スイカ・アスパラ・イチゴの管理



営農指導課 猪原

## 《スイカの交配前までの注意点》

- ・低温・日照不足時：ツル周辺で20～22℃を維持できるか否かが管理の転換点です。
- ・22℃前後を確保できる→トンネルを2/3程度開けて、なるべく採光を行ってください。
- ・20℃を下回る→保温を優先し、トンネル内の曇りを取る程度の換気幅としてください。
- ※ただし、1日に1回はトンネル内の結露が取れるような管理を行ってください。1日中閉め切った管理については、軟弱徒長し、雌花の質が低下します。
- ・ハウスの外張りは25℃前後から換気し始め、冷気に注意し風下で換気してください。
- ・夜間が12℃程度確保できるのであれば、トンネルの裾を少し開けておいてください。

## 《スイカの葉の状態による管理》



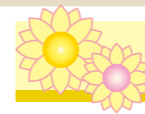
## 《アスパラの休眠時の管理》

- 1月中旬頃は茎葉刈取り作業を行い、その後株元の焼却を行ってください。
- ※刈取りは茎葉が8割程度黄変し、主茎が「スカスカ」になった時が目安です。焼却については2回行い、特に茎枯れ病の発生している圃場は丁寧に焼却してください。
- 1月下旬頃は石灰窒素及び基肥の施用を行います。
- ※石灰窒素は保温開始の20日前に行うようにしてください。(80kg/10a)
- 2月上旬頃は保温開始の時期です。

## 《イチゴの交配中(ミツバチの訪花活動)の注意点》

天候不順となる時期は、ミツバチの活動を促進させることも大切です。ミツバチの訪花活動温度は20～25℃が最適です。農業については、毒性の低い農業でも訪花行動に影響が出ることがありますので、なるべく影響の低い農業を選定し、散布時は必ず散布前日の日没後にハウスの外に出してください。また、巣箱を見えやすくしたり、近くに青色の目印を設けると、帰巢に失敗して死ぬミツバチを防ぐことができます。

# 農作業メモ



# 花き 切花の栽培管理について



営農指導課 宮木

## ○輪菊

3月の彼岸菊については、花芽分化の時期です。ハウス内温度を確実に17℃程度確保しスムーズに分化させてください。分化後は花芽検鏡等により確認後に徐々に温度を落とし、12℃程度での加温を行ってください。(早朝電照については、2～3月出荷の花芽分化促進と上位のボリュームアップのために行います。12時間日長になるように消灯から1か月程度で1月31日までとします。)

病気については、白さび病、灰色カビ病や菌核病が発生しやすい時期です。予防薬を中心に治療薬を適度に組み入れてローテーション散布を心掛けてください。害虫ではハダニ、アブラムシを中心に早めの防除を心がけてください。

夏菊については、採穂前に親株の防除(特にスリップス及び白サビ病)を十分行い、採穂時は太すぎるものや芯に空洞があるものは避け、揃った物を確保してください。電照がない圃場では品種により温度や気候で、早めに花芽をつけることがありますのでエスレル処理(500倍)を行ってください。

## ○洋花類

ハウス内が多湿状態になり、花しみが発生しやすい時期です。灰色カビ病や菌核病の発生を抑えるため、品目に応じた温度管理で十分換気を行い、定期的な殺菌剤による防除に努めてください。



# 畜産 「子牛の防寒対策」



畜産課 新崎

## ●ポイント① 外からの風を直接当てない

冬場は寒風を避けるため、ビニールやカーテン等により牛舎を閉めているかと思いますが、それは同時に牛の周りの換気量を落としてしまうこととなります。極端な密封は換気不良を起こし、肺炎の原因にもなります。具体的に時間を決めて換気を行うことが必要です。(換気扇を使って換気を行う事例もありますが、その場合北風をカーテンでブロックした上で、子牛に風が当たりにくくするよう工夫が必要となります)



使わなくなったお風呂マットを代用

## ●ポイント② 敷材は乾燥した状態を保つ

敷料として主に使用されているのはオガクズです。オガクズは水を吸収しやすく比較的安価で優れた敷料です。ただし、交換頻度が落ちると床が汚れ、お腹を冷やしやすくなり、逆に交換しすぎると細かいオガコなどは肺炎の原因になる場合もあります。牛舎の状況によっては稲ワラやフェスキューなどの乾燥類を使って肺炎等を改善すること、または風呂用マットを敷いて暖かくすること一つの方法です。

## ●ポイント③ 防寒ベスト・ネックウォーマーの利用

防寒ベストは市販のものや古着を改良したものあるいは飼料袋など農場によって様々ですが、注意点としては外部寄生虫の発生があります。牛が背中や肩を舐めたり、体を柱にこすり付けたりする場合はシラミが寄生している場合があります。予防法としてイベルメクチン製剤(アイボメックなど)を使用した後に防寒ベストを着用する方法があります。



古着を防寒具に代用

また、ネックウォーマーは牛専用というものは市販されていませんが、人間の首と子牛の首回りはほぼ同じ大きさなので、人間用の市販のものを使用できます。ただ首を暖めているだけで体温を上げる効果があり、装着部位が首なのであまり汚れず尚且つ安価なので、簡単な方法として利用価値はあります。



# 果樹 2月の果樹園管理



営農指導課 村上

## 防除・施肥管理・栽培管理

品目	栽培管理	農薬・資材名	倍数	対象病害虫・目的
デコボン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ず予措(果皮の水分を抜く)を行ってから長期貯蔵にあたる。</li> <li>・予措の目安として7%の減量が適当。</li> <li>・貯蔵場所として4～5℃、湿度85～90%の環境が良い。</li> </ul>	トランスフォームフロアブル	1,000倍	カイガラムシ類
		ハーベストオイル	60倍	ハダニ
		アミノジューシーN14	500倍	樹勢回復
みかん	密植園では連年安定生産しにくく、作業性の低下や病害虫の発生といった弊害が出るため、樹冠間隔を1m以上あけるようにする。	神協スピリッツ 又は ジューシーエース	500倍 500～1,000倍	花芽分化促進
柿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・密植になっていないか</li> <li>・樹幹内部に光が当たっているか</li> <li>・結果母枝数は適正か</li> <li>・主枝・垂主枝は切り返してあるか</li> <li>以上のことを再度見直す。</li> </ul>	石灰硫黄合剤	10倍	カイガラムシ類
梨	密植状態の園地は風通しが悪く、黒星病の多発要因となる。また、樹勢が弱っている樹は主枝先端まで養分が行き届かず新梢の発生が弱い状態にある。主枝が細くなっている部分は全て先端と考えてやや強めに切返す。			
栗	<ul style="list-style-type: none"> <li>①園全体を見渡す <ul style="list-style-type: none"> <li>・永久樹、間伐樹は決まっているか</li> <li>・永久樹はどれくらい大きくなっているか</li> </ul> </li> <li>②樹全体を見る <ul style="list-style-type: none"> <li>・結果母枝は適正か</li> <li>・樹高は作業管理上適正か</li> </ul> </li> </ul>	粒状熊本くり有機特号	2.5袋(50kg)/10a (成木)	元肥